

癌化学療法レジメン登録書

レジメン名	SOX+Tmab
対象疾患	HER2過剰発現が確認された 治癒切除不能な進行・再発胃癌
1クールの日数	21日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	エスワン	S-1	下記参照		po		d1夕～d15朝
2	エルプラット	L-OHP	100	mg/m ²	div	2時間	d1
3	トラスツマブBS	Tmab	下記参照	mg/kg	div	下記参照	d1
4							
5							
6							
補足	エスワンの1日量…1.25m ² 未満：80mg 1.25m ² 以上1.5m ² 未満：100mg 1.5m ² 以上：120mg （最高75mg/回、最低40mg/回） トラスツマブBS…初回8mg/kgを90分かけて投与。 2回目以降6mg/kg。忍容性あれば30分まで短縮可。						

催吐リスク	中等度
前投薬	グラニセトロン注3mg、デカドロン注4.95mg、プロイメンド注150mg
減量規定	エスワン、エルプラット：血小板減少（25,000/mm ³ 未満）、好中球減少（500/mm ³ 未満）、発熱性好中球減少（好中球数<1,000/mm ³ かつ腋窩温≧38.0℃）、下痢・口内炎・手足症候群（Grade3以上） エルプラット：血小板減少（Day29までに75,000/mm ³ 以上を満たさなかった場合 ※エルプラット50mg/m ² の場合はエスワンを減量）、末梢神経障害（Grade2以上 ※Grade3で休薬、Grade4中止）で減量基準あり。アレルギー反応（Grade3以上）で中止。
主な副作用	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、口内炎、味覚異常、下痢、色素沈着、倦怠感、流涙、末梢神経障害、Infusion reaction、心障害
参考文献	適正使用ガイド（ティーエスワン、ハーセプチン） 「治癒切除不能な進行・再発の胃癌 エルプラット点滴静注液 50mg、100mg、200mgの適正使用について」 日本胃癌学会/監修 ヤクルト 2015年 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）
その他	

投与スケジュール

Day (1)			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL 1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 グラニセトロン注バッグ3mg デカドロン注1.65mg 1日1回	1本 3本	15分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL トラスツマブBS注 1日1回 投与时メイン止める	1本 初回8mg/kg 以降6mg/kg	初回90分 以降30分
4	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液100mL プロイメンド注150mg 1日1回	1本 1本	30分
5	点滴末梢 メイン1側管1 5%ブドウ糖液250mL エルプラット注 1日1回 投与前30分空ける	1本 100mg/m ²	2時間